

## 平成15年度 第3回（平成15年9月2日）図書館運営協議会 会議要旨

### 1. 出席者

運営協議会委員（9名）

小杉山会長・中多副会長・矢口委員・加藤委員・山田委員・三輪委員・  
奥津委員・埜崎委員・山本委員（欠席委員1名）日高委員

図書館側委員（4名）

鹿島中央図書館長・広田奉仕係長・坂井視聴覚係長・豊崎戸山図書館長

図書館事務局（3名）

佐藤管理係長・秋山管理係主査・東主任主事

### 2. 場所 中央図書館大会議室

### 3. 開会

#### 【小杉山会長】

ただいまから第3回図書館運営協議会を開催いたします。

本日は議事終了後、中央図書館の視察を行います。

本日の協議事項は前回に引き続き、区立図書館の理念・役割についてです。

初めに本日の資料について、事務局から説明をお願いします。

#### 【秋山管理係主査】

資料1 社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について（答申）

〔平成10年9月17日 生涯学習審議会〕

資料2 平成15・16年度期 図書館運営協議会検討項目等

\*各委員からの要望・意見から「高齢者サービスについて」と「外国人サービスについて」が検討項目に追加されました。

#### 【小杉山会長】

ご質問はありますか。

#### 【奥津委員】

答申にある民間教育事業者とは具体的にどのようなものですか。

### 【鹿島委員】

民間のカルチャーセンターや私立大学における社会人向けの教養講座等を指すものと思われます。

### 【小杉山会長】

日本の場合は50年間官僚システムでやってきたが、近年、民間の力を活用していこうという方向になってきています。民間の図書館活動は少なくなったが、こういうものも事業推進し、あまり枠にはめないでいく方向にあります。

今までは行政が上からの指示で実施し、教育の場合は指導通達等が多く、住民や子どもたちの方向を向いていませんでした。

### 【加藤委員】

先程、生涯教育に関する話もありましたが、新宿区では社会教育会館が3年前から財団委託になっています。以前は講座を開講するなど独自の考え方で運営していたが、今は場所を貸すだけになっています。

また、大久保地域は本屋が減っています。写真集やコミックを扱う店はあるが。

図書館は区民の知的水準を保つための重要な施設です。

### 【小杉山会長】

地方行政経費の節減と民間の活用が重要です。図書館の場合においても民間の活用、ボランティアの活用が大きな課題となっています。

それでは、本日の協議事項に入りますが、新宿区における公共図書館の設置目的は何なのか、理念・役割について、主に文化・情報等の拠点としての機能について各委員から意見をいただきたい。

なお、「社会教育活性化21世紀プラン」の中にある文部科学省の平成16年度予算要求でも、社会教育分野では機能高度化事業として図書館も対象になっています。社会教育活性化のための活動拠点として図書館は幅広い活動が求められます。

### 【山田委員】

学校図書館の役割は、読書センターの機能と学習・情報センターの機能があります。学校では地域の図書館に子どもたちをよく連れていきます。花園小学校は四谷図書館が近いのでよく利用します。事前に連絡をしておけば様々な準備をしてくれます。地域の図書館において様々な年齢、職業、立場の人が利用

している姿を子どもに見せたい。学校での図書館機能が社会につながっていることを伝えたいです。

**【奥津委員】**

どういう授業で図書館を利用するのですか。どの位の頻度で図書館に連れていきますか。

**【山田委員】**

国語や総合的な学習、社会科など様々です。事前に図書館と連絡を取り、資料を揃えてもらい、時間を有効に活用する場合があります。

何回と決めているわけではありませんが、年に何回かは、学習活動を充実するために地域図書館を利用しています。1年生から実施しています。

**【埜崎委員】**

山梨県一宮町の図書館で、民間事業者（出版社）が子どもたちに読み聞かせを行っているのを見ましたが、子どもたちもとても楽しそうな様子でした。新宿区でも地域のボランティアとして企業（出版社）に協力を求めることはできないのでしょうか。

**【中多副会長】**

講談社とジェーピックではボランティアの読み聞かせを行っています。講談社では全国キャラバンを展開しており、東京では上野公園で3日間、児童書を20%引きで販売しながらパフォーマンスを行っています。ただ、日常の図書館活動こそ大切であり、こうしたものを活用するにしても日常の図書館活動の充実がまず前提になります。図書館は地域住民のオアシスであり、快適で、長期滞在でき、資料も豊富で、相談に乗ってくれる専門的職員がいてこそ図書館活動が軌道に乗ります。

パフォーマンス的なこととしては、図書館では図書館資料と子どもたちを結び付けるイベントとしてお話し会が行われています。

**【佐藤管理係長】**

中央図書館ではお話し会を毎日実施しています。参加人数は最大20名程度です。日曜日にはボランティアの方にお話し会をやっていただいています。他の図書館でも週に1回程度お話し会を実施しています。

**【小杉山会長】**

民間や大学との連携も、公共図書館としての主体性を失わないようにしつつ視野に入りたいと考えています。

**【加藤委員】**

区立女性情報センターと区立図書館のデータベースが共有されていません。新宿区民としては、なぜ実現できないのか疑問です。

**【鹿島委員】**

図書館のオンラインシステムを女性情報センターに繋げるにしても、図書館端末の設置の問題や歴史博物館、学校等の施設についてはどうするか、また費用もかかるなど様々な課題もあります。

図書館資料についてはインターネットで検索、電話予約ができるのでこちらを活用してください。

**【佐藤管理係長】**

セキュリティの関係上、税務資料も税務課職員しか見ることができません。新宿区職員全員が情報を共有しているわけではありません。現時点ではコンピュータが一緒になることはありません。ここは縦割りにならざるを得ないことをご了解願います。

**【鹿島委員】**

女性情報センターのデータベースが出来て、資料がインターネット上でオープンになれば、資料の相互利用の可能性がります。

**【埜崎委員】**

図書館で予約した本が早く届くようになりました。

**【広田委員】**

毎日配本車を運行しています。

**【中多副会長】**

早稲田大学と新宿区立図書館の連携の予定はありますか。

**【鹿島委員】**

早稲田大学エクステンションセンター（生涯学習機関）の入学金を、新宿区在住・在勤の方は8000円のところを6000円に減額してもらっています。エクステンションセンターの会員の方は早稲田大学の図書館も利用できます。

一般区民の早稲田大学図書館利用は難しいのが現状です。

千代田区が明治大学と連携しており年間5千円の登録料で千代田区民に大学がカードを発行しています。学生と同じ要件で区民に貸出しています。

新宿区でも検討している大学があり、こういったものを念頭に置いて話し合いを進めています。

#### 【山本委員】

新宿区で所蔵していない本を他から取り寄せるサービスはありますか。

#### 【広田委員】

図書館で予約カードに記入していただければ、新宿区で所蔵していない本を都立図書館や他区の図書館から取り寄せます。

#### 【三輪委員】

利用者の要望は多様化・高度化しています。学生の読書量が減少していることを実感します。全く読書に関心を持たない層の方が多いのでは。図書館を利用しない人に対しての働きかけ、区民の読者層を増やす試みなど読書層の底辺を広げていくことも重要ではないか。

#### 【山田委員】

平成14年8月の国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の中の読書調査では1ヵ月に1冊も本を読まない人が中学生では43%、高校生では67%もいます。

3分の2の高校生が、一ヵ月に一冊も本を読んでいない。新宿区もこれに類似した状況であろうと思います。

今日の検討項目でヤングアダルトの充実をかかげてあるが、これは図書館運営に係わる重要事項です。

#### 【中多副会長】

読書は個人の自由な営みです。だが、読書を楽しむ力は小さい時からの家庭での読み聞かせ、学校、公共図書館と長い時間をかけて養成されるものです。

読書環境の整備が最も重要な行政の役割です。

ブックスタートもその一つの動機付けです。

子どもへのサービスの重要性が認識されたのはここ30年であり、ようやく平成13年に「子どもの読書活動推進法」が制定されました。

図書館の乳幼児に対する働きかけには、妊婦に子ども向けの本を勧めることや保健婦の母科学級等で働きかけるような地道な働きかけも重要です。

現在では、ほとんどの図書館が児童サービスに取り組むようになったが、中高生になるととたんに来なくなります。自習室もなくなったため。

ヤングアダルトサービスを80年代から都立図書館が全国のパイオニアとして取り組んできた。去年の全国調査で、40%の図書館がヤングアダルトサービスに取り組んでいます。10年前の調査では25%。去年は40%でした。

せっかく児童サービスが充実しても、ヤングアダルトサービスが欠如しては。

#### 【鹿島委員】

図書館の情報発信力、ホームページも含めた蔵書情報や図書館情報の提供など本を読まない人への啓発も含めた情報発信力を高めることも課題です。

現在、「新宿区子ども読書活動推進計画」の策定作業を進めています。

不読率は新宿区教育委員会の調査ではそれほど高くない。小学生は10%を切るくらい。中学生は平均で3割切るくらい。高校のデータはないが、全国平均よりは不読率は低いのではないかと思います。

小学校では朝読書の取り組みもあります。

中学校では部活や受験もあるが、読書活動の継続的な取り組みができないかお願いしたい。

#### 【中多副会長】

子ども読書活動推進計画では7月に策定した香川県が、数値目標を出しており参考になります。

#### 【矢口委員】

図書館は、情報提供よりも読書活動に重点を置いてもらいたい。

学生はインターネットで資料を検索するが、検索した本を読んでいない。

情報にアクセスする力と読書力、両方必要ではないか。

また高齢者向けへの朗読サービスも重要ではないか。

#### 【埜崎委員】

図書館で知り合った高齢者の方が、視力が低下したので朗読を希望しています。

朗読の需要は結構あります。

自分が中学生の頃、毎日15分間くらい「ビルマの豎琴」を先生が読んでくれました。それがきっかけとなりクラスの人達が地域の図書館に通うようになった。

本の楽しさについて、中学・高校の先生も取り組んでほしい。

**【奥津委員】**

図書館は生活の拠点だが、自分の住居から800m圏内に図書館がない。子どもの生活圏内に分館でもいいから図書館をつくってほしい。

**【小杉山会長】**

議題は継続協議にいたします。

ご意見があれば事務局に文書で提出してください。

4. 閉会

小杉山会長、閉会の挨拶。

5. 図書館の視察

中央図書館の見学を行いました